

令和元年度「親子で学ぶ食の教室」保護者アンケート集計結果

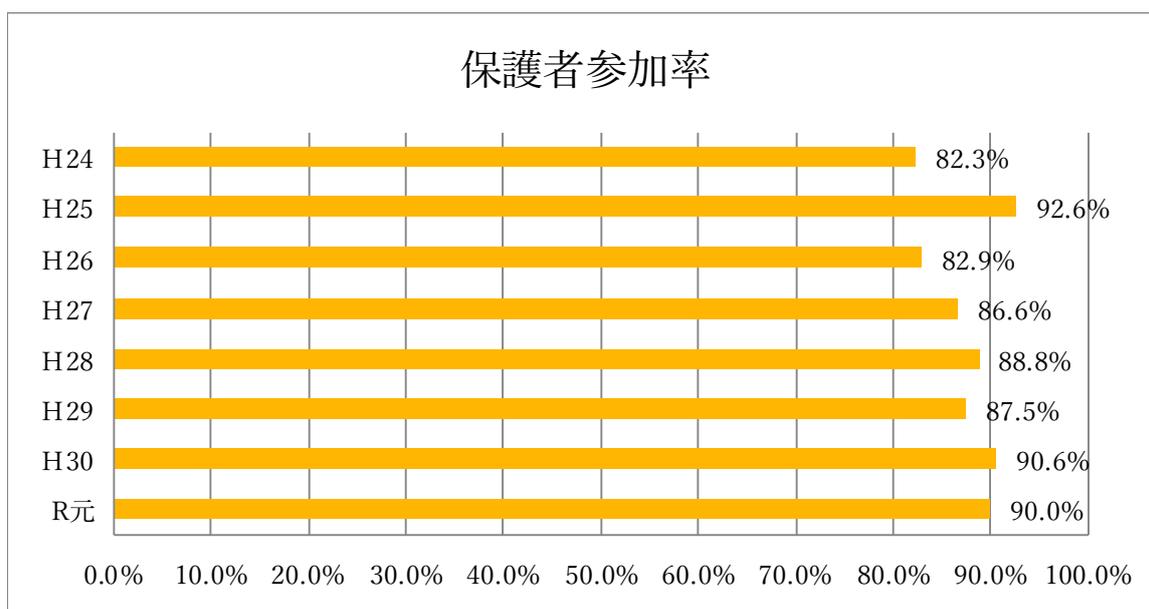
1 実施期間 令和元年6月～10月

2 対象 倉吉市内小学校1年生の児童及び保護者

3 参加者 13校18学級 児童361人 保護者325人 引率教職員35人
合計 721人 (保護者参加率90.0%)

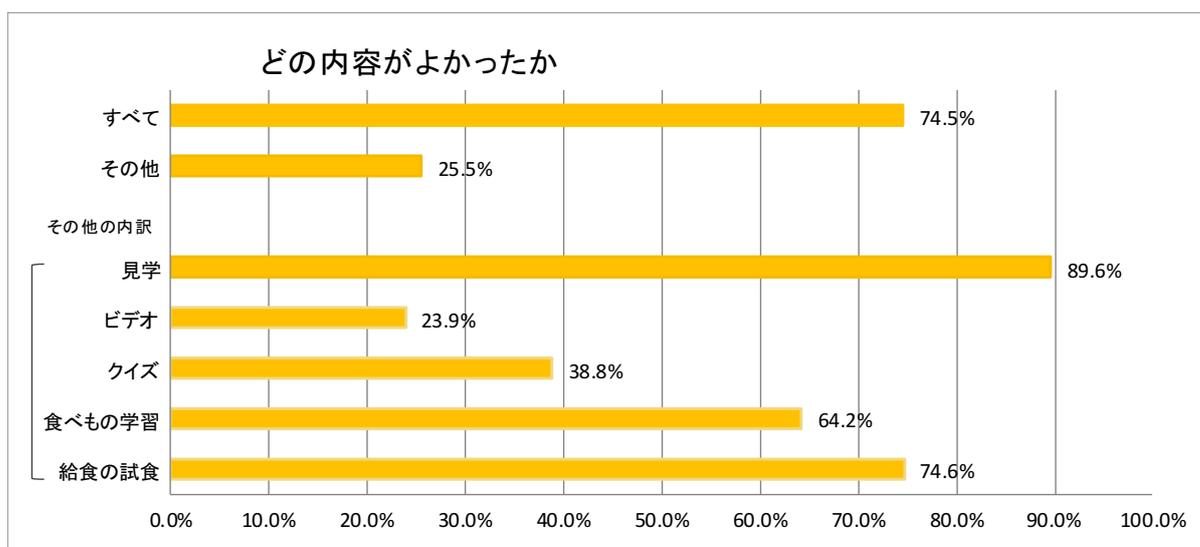
学校学級別	保護者参加率				(%)
西郷1年1組	88.2	上灘1年2組	47.4	社1年B組	96.3
西郷1年2組	85.0	成徳1年	94.1	高城1年	100.0
河北1年1組	96.4	明倫1年	73.3	北谷1年	107.7
河北1年2組	100.0	小鴨1年1組	100.0	灘手1年	100.0
上北条1年	103.7	小鴨1年2組	83.3	上小鴨1年	100.0
上灘1年1組	72.7	社1年A組	81.5	関金1年	100.0

参加人数									(人)
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	
児童数	395	435	426	439	205	561	436	361	361
引率教員数	41	37	37	42	24	48	41	35	35
保護者数	325	403	353	380	182	491	395	325	325
(保護者参加率)	(82.3%)	(92.6%)	(82.9%)	(86.6%)	(88.8%)	(87.5%)	(90.6%)	(90.0%)	(90.0%)
合計数	761	875	816	861	411	1,100	872	721	721



4 保護者アンケートの結果 回答数263人 (回答率80.9% イは複数回答)

問1) 食育教室では、どの内容がよかったですか。		
	人数(人)	割合(%)
ア	すべてよかった	196 74.5
イ	ア以外の回答	67 25.5
①	調理場の見学	60 89.6
②	給食ビデオ	16 23.9
③	給食クイズ	26 38.8
④	「食べもの」の学習	43 64.2
⑤	給食の試食	50 74.6

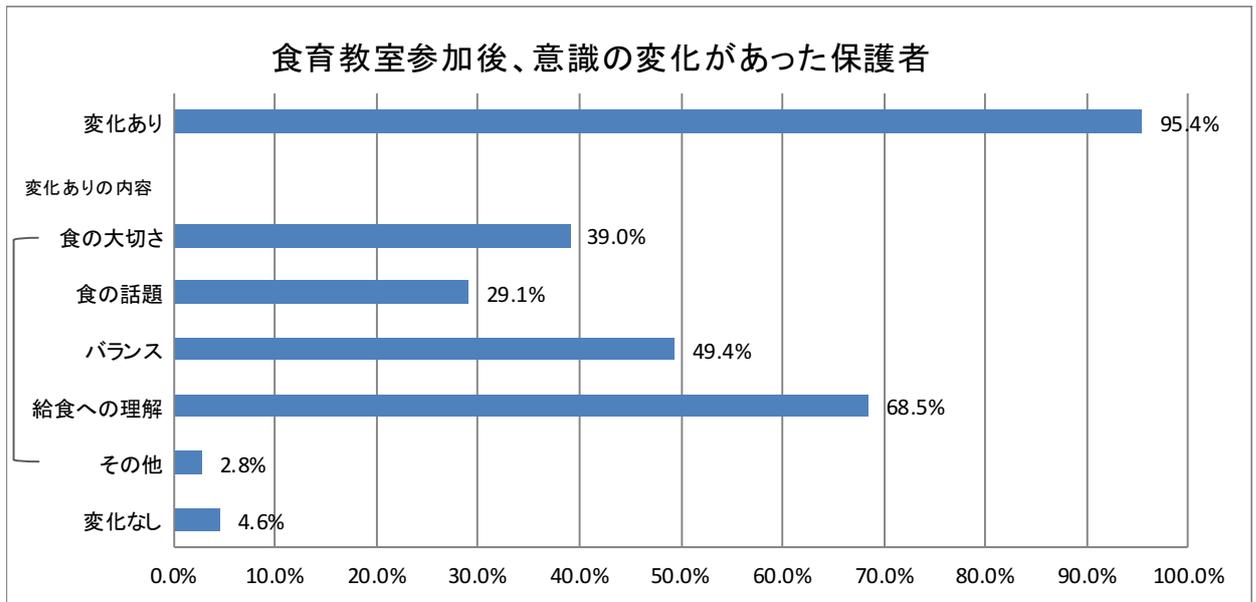


問2) 参加後、保護者の方の食についての意識に変化がありましたか。		
	人数(人)	割合(%)
※	変化があった	251 95.4
	(変化があった内容)	
ア	食事が大切だと思ようになった	98 39.0
イ	親子で、食について話す機会が増えた	73 29.1
ウ	栄養のバランスを考えるようになった	124 49.4
エ	学校給食について理解できた	172 68.5
オ	その他	7 2.8
※	特に変化はない	12 4.6

(「変化があった内容」は複数回答)

オ その他に記載の内容

- ・朝食作りを頑張らないといけない意識が高まった。
- ・濃い味に慣れていて、味が薄く感じてしまった。しかし、身体の健康を考えると見直すことが必要だと思った。
- ・家で野菜を食べさせる工夫をするようになった。
- ・子どもへの食べ物の勧め方を工夫するようになった。
- ・野菜の洗い方など、神経を使って給食を作って下さっていることを、子どもたちに伝えたいと強く感じるようになった。

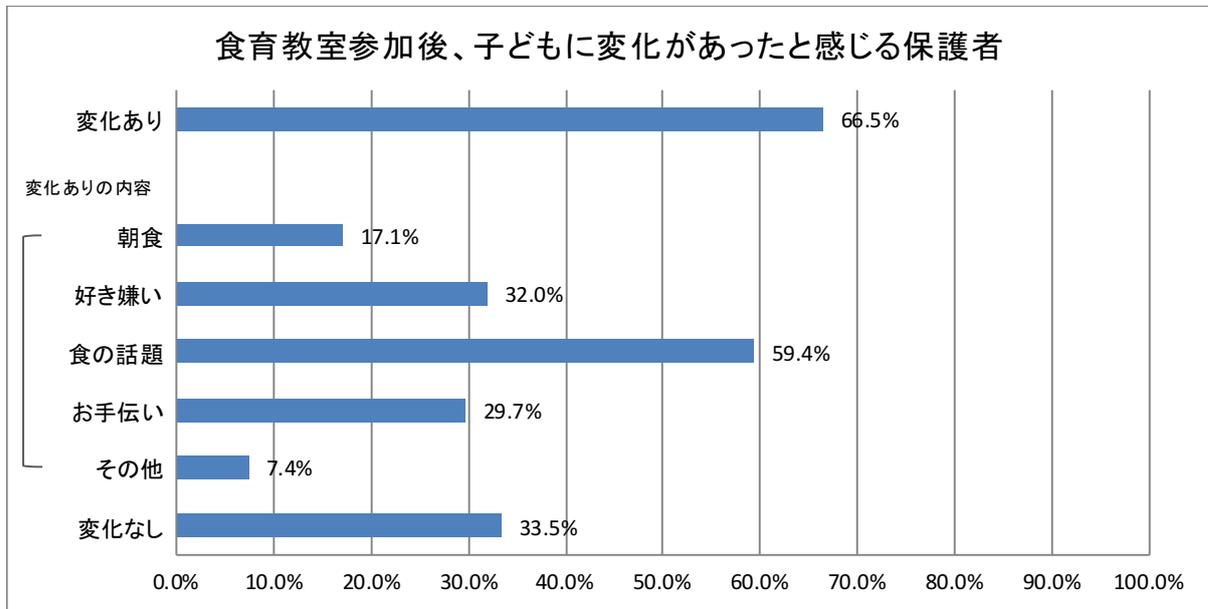


問3) 食育教室に参加後、お子様の様子に変化がありましたか。			
		人数(人)	割合(%)
※	変化があった	175	66.5
	(変化があった内容)		
ア	朝食をよく食べるようになった	30	17.1
イ	苦手な食べものもがんばって食べるようになった	56	32.0
ウ	給食や食べものや栄養について話すようになった	104	59.4
エ	食事の手伝いをするようになった	52	29.7
オ	その他	13	7.4
※	特に変化はない	88	33.5

(「変化があった内容」は複数回答)

オ その他に記載の内容

- ・どうやって給食を作っているのか見て家族に教えてあげていた。
- ・子どもが赤黄緑そろってないと教えてくれるようになった。
- ・赤黄緑の食材に興味を持ち、色分けしながら食べるようになった。
- ・栄養バランス(赤・黄・緑)を考えて食べるようになった。
- ・「お母さん！今日は3つの色がある！」と食事の具材を見て伝えてきてくれる。
- ・「苦手な物も食べようね」と言って、食の話をすることが増えた。
- ・3つの働きを気にかけるようになった。
- ・給食や食についての大切さを話すようになった。
- ・給食の食べ終わりが早くなるように心がけているようだ。
- ・食事量が増えた。
- ・小学校給食が始まって改善しつつあったところが、また1歩改善したように感じている。
- ・料理の本を買い、ハンバーグ、オムライスを作った。



5 その他の主な意見や感想

(学習について)

- ・赤黄緑列車を活用していて、子どもたちは楽しく学習できた。
- ・子どもと一緒に考えたり、意見を出し合ったりして親子で学べたことが良かった。
- ・食育教室は、栄養について改めて考え意識していくよいきっかけになった。
- ・栄養士さんのお話がとてもわかりやすく勉強になった。
- ・クイズ形式の発表が、子どもたちにとって積極的に参加しやすく良かった。
- ・ビデオがとてもわかりやすかった。

(試食について)

- ・給食がおいしかった。
- ・子どもが給食を食べる姿を見ることができ、一緒に楽しく食事もできてとても良い時間を過ごすことができた。
- ・小学校で食べている食事量が分かって良かった。
- ・久しぶりに給食を食べることができて良かった。
- ・家の食事量よりも給食の方が多くしっかりと食べていた。
- ・給食の味付けが分かって良かった。家庭からも色々な味付けに挑戦していきたいと思った。
- ・ご飯に牛乳は合わない。

(調理について)

- ・学校給食を作っているところを見学できて良かった。
- ・調理場見学でセンターの人たちが一生懸命作っている姿を見て、苦手なものも頑張って食べるようになった。
- ・野菜を切る機械や大型鍋に驚いた。
- ・異物混入や、アレルギー食に多くの配慮をされていて勉強になった。
- ・調理場見学をして栄養面だけでなく、衛生面もしっかりしていることがわかった。
- ・心を込めて作っている姿を見て改めて感謝し、そのおかげで給食がおいしいのだと思った。

(その他)

- ・子どもと一緒に見学し、一緒に給食を食べることがとても楽しく、貴重な体験だった。
- ・親子で食について考える良い機会になった。
- ・少しでも子どもたちにありがたさが伝わって、給食を残す子が減ったり、好きな子が増えたり、何か変化があるといいなと思った。
- ・食べ物の大切さを私たちも含め、伝えていく必要があると思った。
- ・家庭の献立の参考にしたいと思った。

6 成果

倉吉市教育委員会の食育推進事業として、平成20年度からスタートした小学校1年生の親子を対象とした「食育教室」は、今年度で12年継続している取組である。保護者の参加率も9割あり、その中には両親や複数の家族が参加される場合も珍しくない。参加を楽しみにしている、また参加したいという声も耳にする。

実施後のアンケートでは、95.4%の保護者が「参加後に食に対する意識の変化があった」と答え、「気になっていた安全面、衛生面の配慮がわかった」「アレルギー食の調理に細心の注意をはらっているのを感じられた」など学校給食についての理解が得られた。食の安全面に関する感想も多くあり、その背景には、異物混入や食物アレルギー対応等、最近の食に関わる問題への関心の高まりがあると考えられる。

また、「一生懸命給食を作って下さる姿を見て、残さず食べようと改めて思えたようだ」「実際に見て知るとはとてもよい経験だと思った」「親子で楽しく学べてよかった」「栄養バランスのことがわかって、食育教室に参加してよかった」など感謝の内容も多く寄せられた。

この食育教室により、栄養管理や衛生管理といった調理現場の様子、食物アレルギーへの対応はもとより地産地消など学校給食をととした食の取組を直接保護者に発信していくことは、家庭や地域との連携においても、とても有意義であると考えられる。

来年度も、引き続き子どもたちの食生活における実践や望ましい食習慣の定着につながる食育の取組や働きかけになるよう食育教室の教材や環境を整え努めていきたい。